



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社中央製作所

コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 太田 浩

TEL 052-821-6166

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,187	7.0	40	—	52	—	50	—
26年3月期第3四半期	2,978	—	△51	—	△37	—	△39	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 113百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	6.52	—
26年3月期第3四半期	△5.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,642	1,706	30.3
26年3月期	4,760	1,594	33.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,706百万円 26年3月期 1,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,190	17.1	214	543.3	227	368.6	200	425.5	25.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	7,843,000 株	26年3月期	7,843,000 株
27年3月期3Q	79,208 株	26年3月期	77,086 株
27年3月期3Q	7,764,878 株	26年3月期3Q	7,766,089 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 生産実績	9
(2) 受注実績	9
(3) 販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げの反動による個人消費の低迷や、設備投資の落ち込みを要因として、2四半期連続のマイナス成長となるなど景気の回復が遅れました。更には、為替市場における円安の進行に伴い、輸入原材料価格の高騰の影響などにより国内景気の下押しが懸念される一方、原油価格の下落によるエネルギーコストの抑制や、円安に伴う輸出品の増加によるメリットが注目されるなど、国内経済は混沌とした状況で推移いたしました。また、海外においては、米国経済は自律回復傾向にあるものの、ユーロ圏経済のデフレ懸念、新興国経済の成長鈍化、中国経済の減速等も明確となりました。

こうした中で当社は、国内需要はもとより、海外での需要にも積極的に対処できる体制の整備・充実を図るとともに、新製品、新技術の開発による新規顧客の獲得や、競争力強化のためのコスト低減等に取り組み、需要の掘り起こしに注力してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は4,255百万円（前年同期比23.3%増）、売上高は3,187百万円（前年同期比7.0%増）と堅調に推移し、営業利益は40百万円、経常利益52百万円、四半期純利益は50百万円となりました。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

(電源機器)

電源機器につきましては、小型インバータ電源などの汎用型製品の拡販に重点を置き、リードタイムの短縮や、コスト削減に取り組みながら生産・販売活動を行ってまいりました。また、オーダーメイド型製品につきましては、近年手控えられていた設備の更新需要などに対して、積極的に営業活動を展開してまいりました。

その結果、受注高は1,143百万円（前年同期比15.8%増）、売上高は1,002百万円（前年同期比17.7%増）となり、いずれも増加いたしました。

今後もラインナップを拡充した小型インバータ電源の市場への更なる浸透を図るとともに、オーダーメイド型製品の提供を通じて、顧客や市場の生産ニーズに的確に応えられる技術の開発に一層注力し、受注・売上の拡大に努めてまいります。

(表面処理装置)

表面処理装置につきましては、国内においては、ここ数年手控えられておりました更新需要の掘り起こしに一層努めるとともに、海外においては、販売子会社を通じて中国における市場の新規開拓に注力し、受注の確保を図ってまいりました。

その結果、受注高1,499百万円（前年同期比22.1%増）と増加いたしました。売上高につきましては、当第3四半期連結累計期間内での納期設定物件が少なかったため674百万円（前年同期比36.9%減）にとどまりました。

今後は、国内外の更新・改造需要の掘り起こしに注力するとともに、需要の変化に伴い新たな工法を実現し得る装置や、環境などに配慮した装置の新規需要に対し、積極的な技術提案で受注の確保を図ってまいります。また、第4四半期には売上が予定されている物件が集中しているため、一元化された情報のもとに徹底したプロセス管理を行い、確実に装置完工及び顧客への引渡しを行うべく努めてまいります。

(電気溶接機)

電気溶接機につきましては、引き続き堅調な輸送機業界を中心とした更新需要に対して、確実に受注すべく取り組んでまいりました。あわせて、建築資材業界など内需型産業における新規・更新需要の掘り起こしにも注力してまいりました。

その結果、受注高は774百万円（前年同期比30.3%増）、売上高は738百万円（前年同期比34.8%増）と大きく伸長いたしました。

今後も、当期に市場投入いたしました新型溶接機用制御装置「CE2-6-7」の市場への浸透ならびに拡販を進めつつ、新たな市場に向けた新製品の開発を推進し、今後の受注・売上の拡大に努めてまいります。

(環境機器)

環境機器につきましては、地球環境保全について国際的な取り組みが進展する中、リサイクル関連機器及び各種液管理装置の機能改善に取り組んでまいりました。

その結果、受注高は269百万円（前年同期比3.0%減）と減少しましたが、売上高は、大型の排水処理装置や各種液管理装置、超音波洗浄機等の売上が寄与し260百万円（前年同期比10.3%増）と増加いたしました。

今後は、一層のグローバル化の進む市場に対し、液管理装置やペーパーコン、エチクリン等のリサイクル装置を積極的に顧客提案し、受注・売上の確保に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ22.0%増加し4,737百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が417百万円減少したものの、現金及び預金が490百万円増加し、仕掛品が542百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3.1%増加し904百万円となりました。これは、有形・無形固定資産合計が4百万円減少したものの、投資その他の資産が31百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ18.5%増加し5,642百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ35.7%増加し3,110百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が418百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ5.7%減少し824百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が41百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ24.3%増加し3,935百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7.1%増加し1,706百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が16百万円増加し、利益剰余金が50百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年11月13日に公表いたしました内容に変更はありません。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,264,975	1,755,260
受取手形及び売掛金	1,796,970	1,378,982
電子記録債権	17,162	53,878
商品及び製品	62,657	66,875
仕掛品	532,126	1,074,443
原材料及び貯蔵品	104,638	131,908
その他	111,708	281,785
貸倒引当金	△7,200	△5,300
流動資産合計	3,883,040	4,737,834
固定資産		
有形固定資産	307,358	298,306
無形固定資産	11,872	15,950
投資その他の資産	558,261	590,171
固定資産合計	877,492	904,428
資産合計	4,760,532	5,642,262
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,031,551	1,450,227
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	13,322	-
その他	407,011	820,739
流動負債合計	2,291,885	3,110,967
固定負債		
役員退職慰労引当金	222,400	204,950
退職給付に係る負債	601,821	560,787
その他	50,072	58,582
固定負債合計	874,294	824,319
負債合計	3,166,179	3,935,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	776,595	827,230
自己株式	△11,581	△12,032
株主資本合計	1,493,600	1,543,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,047	169,447
為替換算調整勘定	9,400	9,168
退職給付に係る調整累計額	△61,696	△15,424
その他の包括利益累計額合計	100,752	163,192
純資産合計	1,594,352	1,706,975
負債純資産合計	4,760,532	5,642,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,978,251	3,187,666
売上原価	2,357,562	2,414,641
売上総利益	620,688	773,025
販売費及び一般管理費	672,581	732,147
営業利益又は営業損失(△)	△51,893	40,878
営業外収益		
受取利息	143	347
受取配当金	4,941	5,798
持分法による投資利益	6,636	6,649
為替差益	5,638	2,459
その他	3,736	2,394
営業外収益合計	21,096	17,649
営業外費用		
支払利息	6,008	5,604
その他	539	358
営業外費用合計	6,548	5,962
経常利益又は経常損失(△)	△37,345	52,565
特別損失		
固定資産処分損	253	177
特別損失合計	253	177
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△37,598	52,387
法人税、住民税及び事業税	1,615	1,753
法人税等合計	1,615	1,753
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△39,214	50,634
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,214	50,634

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△39,214	50,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,257	16,399
為替換算調整勘定	3,807	△232
退職給付に係る調整額	-	46,272
その他の包括利益合計	42,064	62,439
四半期包括利益	2,850	113,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,850	113,073
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（千円）	前年同期比（％）
電源機器	1,098,974	23.4
表面処理装置	1,173,401	1.9
電気溶接機	816,134	40.9
環境機器	247,910	△5.7
その他	602,473	128.2
合計	3,938,894	25.1

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同期比（％）	受注残高（千円）	前年同期比（％）
電源機器	1,143,024	15.8	513,173	20.7
表面処理装置	1,499,761	22.1	1,541,836	85.2
電気溶接機	774,892	30.3	172,947	△2.1
環境機器	269,685	△3.0	89,407	△8.6
その他	568,125	56.5	275,671	139.6
合計	4,255,489	23.3	2,593,035	57.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）	前年同期比（％）
電源機器	1,002,545	17.7
表面処理装置	674,978	△36.9
電気溶接機	738,294	34.8
環境機器	260,599	10.3
その他	511,247	87.4
合計	3,187,666	7.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。